

ハウジャク2題

【ホシハウジャク】

8月、毎日が暑くてやりきれない日、ヘクソカズラ(屁糞葛)の葉から葉へと急がしそうに動き回りながら産卵をしているホシハウジャクを見つけた。静止しているホシハウジャクはめったに見ることのできない一生忙しそうな虫だが、その代りホバーリング中のものは写真に撮りやすい。

前述の食草、ヘクソカズラはあまりにも可愛そうな名前だとヤイトバナ(花の形から)とかサオトメバナ(早乙女花)との呼び方もあるようだが、食草の呼び方としてはヘクソカズラが似合っているような気がする。そしてハウジャクとの組み合わせがこれまたお似合いだと思う。



【ホシヒメハウジャク】

「窓に変な虫がいる!! 何の虫??」。最近、家族が虫を見つけてもすぐ殺さなくなった、否、逃がさなくなった。とりあえず種類を訊いて来る。呼ぶ声にのこのこと近くに行くと翅がくびれて、いかにも飛べそうもない蛾が一匹網戸にしがみついている。「蛾だよ」と一蹴。

一般的にはそれで終わるのだが、この蛾はホシヒメハウジャクというスズメガの仲間で、立派に飛ぶことができ、ホバーリングさえして吸蜜もする。

外に出ると偶然にもそのホシヒメハウジャクの幼虫がヘクソカズラの葉を食べていた。

